

香里ヶ丘中央公園整備構想

I. 香里ヶ丘中央公園の現状

- ◆自然環境について
 - ・枚方丘陵の地形を生かした緑が多い自然豊かな公園で、香里ヶ丘地区の中心に位置する。
 - ・公園のシンボリック的存在であるアラカシなど多くの樹種の木が育成しており、みどりへの関心が高い。
 - ・現存する樹林地では、鳥や昆虫などを観察することができる。
- ◆スポーツ利用やレクリエーション機能について
 - ・安心して球技遊びのできる多目的運動広場(有料)を有している。
 - ・周廻園路を活用して、週末にはウォーキングやジョギングを楽しんでいる。
- ◆憩いやオープンスペースについて
 - ・放課後の時間帯や土日祝日には、小中学生が公園の小広場などで遊び賑わっている。
 - ・桜の開花シーズンには、桜並木が地域のお花見の場として人気。

公園現況図



II. 香里ヶ丘中央公園の課題

- ◆自然環境について
 - ・公園内の樹木が繁茂しすぎて見通しが悪く、防犯上の対策が必要である。
 - ・図書館東側の法面は、急斜面で樹木の根が露出しており、倒木の危険性がある。
 - ・優先的に対策を実施すべき外来生物である、ニセアカシアなどの樹木伐採が必要である。
- ◆スポーツ利用やレクリエーション機能について
 - ・多目的運動広場の地域開放日が限定されているため、地域ニーズに答えられていない。
 - ・周廻園路は、ウォーキング利用者とジョギング利用者ととの動線が混在し危険である。
- ◆憩いやオープンスペースについて
 - ・駐車場は、多目的運動広場の利用者専用であるため、他の公園利用者が利用できない。
 - ・遊具が少ないため、子育て世代の公園利用が少ない。
 - ・旧バラ園は周囲の樹木が繁茂して暗いため、利用しにくい。

III. 香里ヶ丘地域のまちづくりの課題

- ◆少子・高齢社会について
 - ・地域の高齢化に伴い、バリアフリー化の必要性に迫られている。
 - ・定住促進に向けて子育てのしやすい環境づくりが求められている。
- ◆まちの再生について
 - ・拠点的な地区や公共施設の求心力が低下し、魅力あるまちとしての再生が必要となっている。

IV. 香里ヶ丘中央公園整備の基本的な考え方

- (1)香里ヶ丘地域の核となる公園として周辺にはない特徴や取り組みを盛り込み、まちとのつながりを生みだし、地域の活性化に寄与する。
- (2)課題への対策として物理的なバリアの解消に加え、プロポーザル方式による図書館設計事業者からの提案を踏まえ、新たな公園機能を付与し、図書館とのハード・ソフト面における一体利用を考慮した整備を行う。
- (3)樹林地(みどり)の安全性に十分配慮し、「人が積極的に利用するエリア」と「人と自然が共生するエリア」に区別してみどりを効果的に活用・保全する。

V. 香里ヶ丘中央公園整備の具体的な方向性

- (1)まちとのつながり
 - 地域をつなぐネットワークを構築するため、多様な市民活動を誘発する公園機能を整備する。
 - 遊歩道:健康志向の醸成を図るため運動器具を設置する。
利便性を高めるため図書館との接続をバリアフリー化して整備する。
 - ベンチ:休息場所を提供する。
 - 桜並木:お花見スポットとして溜り空間を整備する。
 - 周廻園路:多目的運動広場外周の園路をウォーキングコースとして整備する。
 - みどりの広場:図書館とのイベント連携や幼稚園・保育園の野外活動としても利用できるように整備する。
- (2)公園機能の充実、図書館との機能連携の強化
 - ハード面の課題に対する再整備や管理作業を行うとともに、ブリッジの整備による一体利用によって公園と図書館との機能連携を強化する。
 - 旧バラ園:周辺の緑地と調和したみどりの広場として整備し、民間活力による効果的な管理運営を行う。
 - 出入り口:彩りやゲート性を加えるため花壇や総合案内板を整備する。
 - 駐車場:公園や図書館の一般利用者も使用できる駐車場として整備する。
 - トイレ:清潔感のあるトイレとして整備する。
 - 図書館周辺法面:図書館との景観に配慮し、擁壁の設置などにより法面の安全対策を行う。
 - 樹林地:外来種を伐採し、樹木の剪定、下枝払いを行う。
- (3)みどりの効果的な活用・保全
 - 多目的運動広場北側の樹林地:民間活力を活かし、子どもが冒険遊びのできるプレーパークなどの事業を実施し、樹林地を活用する。
 - 図書館東側の樹林地:生物多様性空間として樹林地を保全する。
 - 旧バラ園周囲のアラカシの森:みどりの広場と調和した木陰を提供する森として活用する。

VI. 香里ヶ丘中央公園の整備内容

整備区分		備考
機能連携	遊歩道、周廻園路	遊歩道をバリアフリー化、周廻園路をウォーキングコースとして整備
	みどりの広場	図書館と公園との機能連携を図る広場として整備
	駐車場、総合案内板等	駐車場の拡張、情報案内板の設置、トイレは長寿命化計画で実施
	図書館周辺法面の擁壁	図書館との景観に配慮し、擁壁などで法面の安全対策を実施
その他		花壇はアダプト制度を活用、伐採・剪定等の管理作業、プレーパークの実施

VII. 公園の整備スケジュール

